

発行  
2022年9月  
No.34

# 日本プライマリ・ケア連合学会 北海道ブロック支部 ニュースレター

発行人  
支部長 木佐 健悟

北海道ブロック支部事務局  
(市立美唄病院内)  
TEL:0126-63-4171  
mail:hpca.jimukyoku@gmail.com

北海道ブロック支部広報委員会

## 編集前記



こんにちは。広報委員会のMです。

北海道は徐々に秋の風を感じるようになってきましたね。相変わらず新型コロナウイルス感染により以前のような活動は十分にできないものの、第7波も比較的落ち着いてきている印象です。また、これから冬にかけてインフルエンザの流行する季節にもなってきます。ブロック支部会員の皆様も診療に管理業務に日々ご苦労されていることとお察しいたします。くれぐれもみなさまご自身の健康にご留意下さい。

私自身は、昨年残念ながら開催されなかった子どもたちの運動会も制限がありながら開催され、参加することができました。今年甲子園大会で優勝した仙台育英の監督の言葉のように、「青春って密」と本当に思います。新型コロナウイルスの感染拡大が始まってからイベントがいくつも中止されていましたが、これからの未来をに子どもたちの「今できる時間」を大切にしていきたいなと改めて思いました。

さて今回のニュースレターですが、内容としては、支部会員のリレーコラムを再開しました。また、第9回北海道地方会の実施後アンケートも含め報告させていただいております。非常に満足度の高い結果で、私達もうれしいかぎりです！

その他、日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部第7回学術集会(兼)第102回北海道医学大会プライマリ・ケア分科会の情報もありますので、ぜひご覧ください！



札幌市中央区 中島公園

## 道南勤医協函館稜北病院にて サイトビジット&ポートフォリオ検討会を開催！

2022年9月2日(金)に道南勤医協函館稜北病院でサイトビジットとポートフォリオ検討会を開催しました。参加者は、木佐健悟支部長、佐々尾航副支部長(道立羽幌病院)、若手医師学生支援委員会の今江章宏委員長(町立寿都診療所)、加藤聡一郎先生(釧路協立病院:指導医)、谷村夏姫先生(手稲家庭医療クリニック:専攻医)、八鳥駿先生(更別村国保診療所:専攻医)でした。

### ○サイトビジット

函館稜北病院は2016年に改築され、内科系急性期・地域包括ケア病棟56床、回復期リハビリ病棟48床を有し、200名以上の在宅患者を抱える在宅療養支援病院でもあり、外来・入院・在宅を一貫して主治医として担当できます。

総合診療科は、プログラム責任者の川口篤也先生、指導医の清水平先生、専攻医4名が所属しています。また、同院のリハビリテーション科ではリハビリ専門医3名・専攻医1名が常勤しており、リハビリ領域との連携も強みです。

専門研修プログラムでは、函館稜北病院を基幹病院とし、道南地区を中心に札幌の医療機関とも連携しています。選択研修では、同院のリハビリテーション科も選択可能です。

さらに、日本在宅医療連合学会の在宅医療認定専門医プログラム「ものがたり在宅医療フェローシップ(医療法人社団ナラティブホーム)」に所属しており、月1回WEBでポートフォリオ検討会を実施しています。

函館稜北病院での研修は、外来週2-3コマ、訪問診療週1-2コマ、入院7-8名担当を基本とし、希望により胃カメラ・褥瘡回診・嚥下造影・ICLSチーム・緩和ケアチームでの研修も可能です。振り返りは週1-2回、指導医とマンツーマンで1時間半程度行い、外来のカルテレビューなどを行います。入院患者はカンファレンスを週2回行い、薬剤師とのカンファレンスや臨床倫理カンファレンスがそれぞれ週1回あるのも特徴です。また、北海道勤医協総合診療・家庭医療・医学教育センター

(GPMEC)が主催する毎月第4土曜の勉強会(二木会)には、業務扱いで参加できます。当日は、外来研修における予約・新患の配分方法や、連携施設での研修依頼方法や雇用調整など、細やかな部分も含め活発に意見交換が行われました。

### ○ポートフォリオ検討会

総合診療科で研修中の専攻医のお二人から、事前に作成したポートフォリオを参加者へ共有いただき、ディスカッションを交わしました。霜田英見先生、石谷巧先生から事例を選んでいただきました。現地指導医のみならず、他プログラムの指導医や専攻医から様々なフィードバックを得ることで、多様な学びが生まれるとともに、専攻医同士も良い刺激になったのではと思います。

最後に、お忙しいなかホストを引き受けていただきました川口先生ならびに函館稜北病院事務の皆様にご改めて感謝申し上げます。

## トピック① 支部会員リレーコラム

今回は札幌市で外来診療・訪問診療を行っている「ファミリークリニックさっぽろ山鼻」の松田諭先生です。

2020年4月に開業して2年半ですが、外来診療や訪問診療で新型コロナウイルス感染症患者への対応の他、「屋台カフェ」や「まちなか図書館」など、地域に根差した活動を精力的に行っているようです！

## トピック② 第9回北海道地方会が開催 されました！

2022年6月25日(土)に第9回北海道ブロック支部北海道地方会がオンラインにて無事盛況に終わりました。

参加者総数は167名、地方会の満足度も、90%以上の方々から満足頂けるとい結果でした！

## トピック③ その他の情報

2022年度(第10回)北海道プライマリ・ケアフォーラム(兼)第102回北海道医学大会プライマリ・ケア分科会(兼)北海道ブロック支部第7回学術集会が、11月19日(土)に現地開催(「かでる2・7」)することが決定しました。

その他、道庁補助事業、支部予算の活用などアイデアも募集しております。



ファミリークリニックさっぽろ山鼻から見た藻岩山と市電

## トピック①

# 支部会員リレーコラム！

松田 諭 (ファミリークリニックさっぽろ山鼻)



コロナ禍の2020年4月に開業し、2年半がたちました。「都市型家庭医療」の実践の場として、札幌市内で外来診療や訪問診療の他、屋台カフェやコミュニティづくり、地域向け活動など、スタッフみんなで和気あいあいと様々なことに取り組んでいます！

また2022年度が始まってから気軽に立ち寄れる「屋台カフェ」や地域の方々に書籍を持ち寄ってもらった「まちなか図書室」もはじめました。閉じこもりがちだった地域の子供や大人、さらに在宅患者さんの外出の機会になったりと思った以上に好評で、改めて人と人のつながりを求めているんだなあ実感しています。

他にも様々な事業所スタッフともコミュニティを広げており、サークル活動的に現在はオンライン上で家庭医療の勉強会や読書会、交流会等も行っています！

札幌市中央区のファミリークリニックさっぽろ山鼻の松田諭です。

ファミリークリニックさっぽろ山鼻は、札幌市内で外来診療、訪問診療を行う無床診療所です。スタッフ数は2022年9月現在、医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務3名、その他非常勤医師2名で構成され、多職種チームで家庭医療を地域に展開しています。

当クリニックは「ひとをうやまい、まちをはぐくむ」というビジョンを大切に、総合診療外来、終末期を含めた訪問診療、地域コミュニティ活動を地域に展開しています。

外来診療では特にコロナ禍の中での開業であったため、積極的にオンライン診療や発熱外来も行っております。また、訪問診療においても病床が逼迫して在宅療養となってしまった新型コロナウイルス感染症患者、また感染してないものの入院ができなくなってしまった終末期を含めた患者への対応など、広く地域の事情を鑑みながら「我々のクリニックがどんなことに貢献できるのだろうか？」と、全スタッフで話し合いながら診療を展開してきました。

## 「ひとをうやまい、まちをはぐくむ」

- 松田 諭

私自身も今まで忙しく時間がとれなかったことや、コロナ禍でなかなか医療介護系以外の方々と知り合いになることができなかったのですが、最近小学校1年生になる息子が少年野球をはじめ、パパさんコーチとして関わることが多くなり、念願のパパ友コミュニティができました！

仕事もプライベートも、人を大切にすることを忘れずに、日々自分でも楽しみながら、地域に貢献していけたらなと思っています！



## トピック②

### 第9回北海道地方会が開催。アンケート結果公表！

実行委員長：加藤 利佳（医療法人溪仁会 手稲家庭医療クリニック）

2022年6月25日（土）に第9回北海道ブロック支部北海道地方会がオンラインにて無事盛況に終わりました。今回の地方会のテーマは『緩和ケア×プライマリ・ケア』を掲げました。

参加者総数は167名で、職種別では医師（専攻医・初期研修医含む）114名で一番多く、次いで薬剤師30名、看護師・保健師17名、他理学・作業療法士、学生が各3名ずつでした。

アンケート結果です。回答率は43件、25.7%でした。勤務年数別でみると、10-29年目の方が多く60%以上を占め、次いで6-9年目がそれぞれ19%、そして3-5年目、30年目以上がそれぞれ10%弱となり若手からベテランまで幅広い方々にご参加頂きました。

地方会の満足度は、90%以上の方々から満足頂けるという結果でした。以下は各企画に関する印象に残った内容や感想を自由記載して頂いた内容です（紙面の都合上一部となります）。

全体を通じての感想・意見も「初めて遠隔で参加しました。演者が近くに感じられた」「オンラインでしたが満足で、地方からも参加しやすく有り難かったです」という声も多く、アンケート結果より、地域のプライマリ・ケアを支える皆様のお役に立てるような会を開催できたと安堵致しました。これもひとえに実行委員の皆様アイデアとまたそこに参加して下さったプライマリ・ケアに関わる皆様のご賛同があったからこそ、また事務局の方々のご多大なるご協力の賜物です。本当に心より感謝申し上げます。



- 
-

- 
-

- 
-

- 
-

- 
-

- 
- 
-

## ブロック支部幹事、こんなことやってます！



プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部長の木佐健悟です。

倶知安で働き始めて11年目になりました。2年後に外来・病棟が入る建物が増築され、古い建物は取り壊されます。新しい建物からはシンボルの羊蹄山がどのように見えるか楽しみです。

例えば、地方会実行委員会の委員長は幹事会で決めています。地方会の準備の流れをある程度知っている人が実行委員長になるのが望ましいと考え、現在は幹事の中から実行委員長を選んでいます。第9回地方会の閉会式でもご案内しましたが、第10回北海道地方会は2023年6月24日（土）午後17時～19時で行います。実行委員長は道立羽幌病院の佐々尾航先生です。第1回実行委員会を10月1日（土）午後、幹事会に続いて開催予定です。

北海道ブロック支部では、ブロック支部の活動について議論するために年に3回幹事会を行っております。次回は10月1日（土）午後17時～19時に開催します。参加するのは代議員から選ばれた幹事15名、監事2名、および理事となります。行事の報告や予定、予算などについて毎回1時間半くらいかけて議論しています。会員の皆様から取り上げてほしい話題がある場合は、支部事務局までご連絡ください。



## トピック③

# 北海道プライマリ・ケアフォーラム、北海道ブロック支部学術集会、北海道医学大会プライマリ・ケア分科会が 11月19日に開催!



2022年度(第10回)北海道プライマリ・ケアフォーラムならびに日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部第7回学術集会(兼)第102回北海道医学大会プライマリ・ケア分科会が11月19日(土)、現地で開催(「かでる2・7」)されます。

北海道プライマリ・ケアフォーラム実行委員長は2021年度に引き続き、湯浅駿先生(くろまつなブナの森診療所)、日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部第7回学術集会(兼)第102回北海道医学大会プライマリ・ケア分科会の大会長は木佐健悟支部長、幹事は佐藤弘太郎副支部長です。

### 〈開催概要〉

【日時】令和4年11月19日(土)  
12:30~19:20

【会場】北海道立道民活動センター(かでる2.7) 820 研修室・1030 会議室・1040 会議室・1050 会議室・1070 会議室  
※〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目(TEL.011-204-5100)  
※託児室を用意する予定です。

【対象】学生、研修医、若手医師、各種医療専門職、北海道ブロック支部会員、非会員

【参加費】無 料

【お申込み】事前参加申込み受付中  
※締め切りは2022年11月4日(金)まで

(事前参加申込フォーム)  
<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeP1uQkjkIuk8c978xoRERCYjQWewe7-BdKLA-NyYdXLhJ5YA/viewform>

【主催】日本プライマリ・ケア連合学会北海道ブロック支部、北海道(北海道地域医師連携支援センター)

【共催】日本プライマリ・ケア連合学会学生研修医部会北海道支部

### 〈プログラム〉

	内容
12:30~	◎開会式(20分)
13:00~	<b>WS第1部(80分)</b> ◎ ◎WS1:四分割 ◎WS2:遠隔療]
14:40~	<b>WS第2部(80分)</b> ◎WS3:薬剤 ◎WS4:ACP ◎WS5:所長交 育]
16:10~	<b>学術集会 集会並行企 (70分)</b> ◎ 術集会 No.1、No.2 ◎ 術並 (学生向け)
17:30~	<b>特別講演(20分)</b> ※Web配信あり
17:50~	<b>(80分)</b> ※Web配信あり
19:10~	◎閉会式(20分)



## その他のお知らせ

ぜひご活用ください!

### ① 道庁補助事業について

現在新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いあまり利用がありませんでしたが、現在も地域医療体験実習のための費用助成を継続中です!ぜひ医学生の方はご利用いただければと思います。

<https://ipca-hokkaido.jp/2022%e5%b9%b4%e5%ba%a6-%e4%bd%93%e9%a8%93%e5%ae%91%e7%b1%92%e3%83%bb%e6%96%bd%e8%a8%ad%e8%a6%8b%e5%ad%a6%e3%81%ab%e8%a6%81%e3%81%99%e3%82%8b%e8%b2%bb%e7%94%a8%e5%8a%a9%e6%88%90%e3%81%ab%e3%81%a4>

### ② ブロック支部内部組織及び活動状況について

現在、広報委員会、若手医師・学生支援委員会、薬剤師部会が各々活動&計画中です。引き続き情報があれば随時共有していきます。まだ Facebook のご登録をされていない方々もぜひ登録を!

<https://www.facebook.com/Hokkaidoprimarycare/>

### ③ 支部の予算について

新型コロナウイルス感染拡大により、昨年度事業をあまり行うことができなかったこともあったため、内部留保があります。このため今年度の北海道地方会および北海道プライマリ・ケアフォーラムは無料としております。

北海道ブロック支部としては今後、支部活動をアピールしていくための施策を検討しておりました。一つの案として、ブロック支部設立10周年記念事業もできないかとも考えていますので、アイデアをお持ちの方はブロック支部事務局までご意見お寄せください!

北海道ブロック支部事務局 Email  
[hpc.jimukyoku@gmail.com](mailto:hpc.jimukyoku@gmail.com)